昭和59年度

第3回 全日本ジュニア バドミントン選手権大会

会場

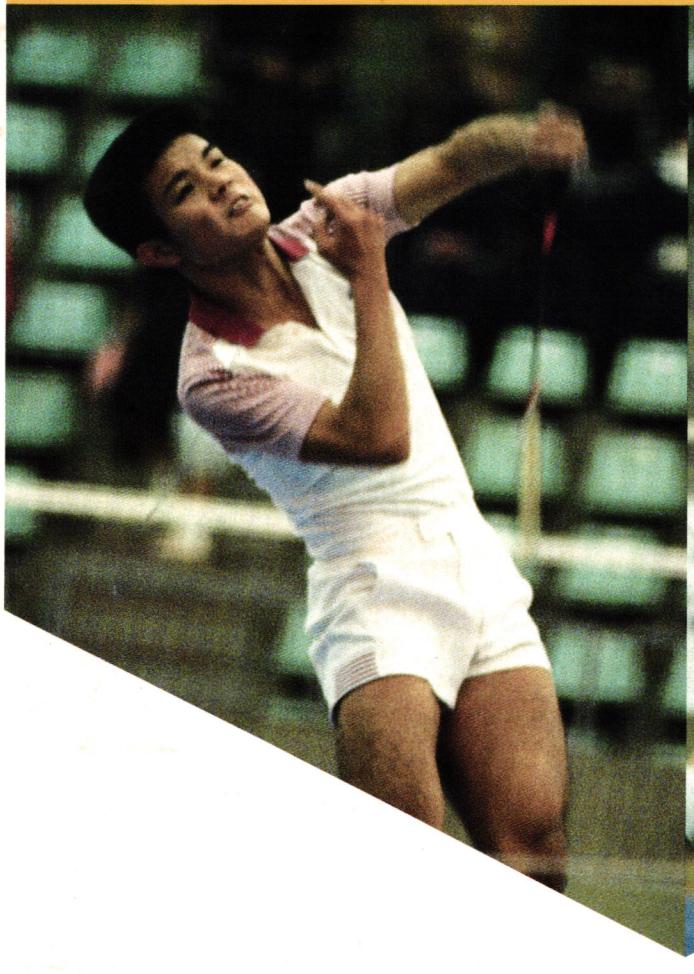
国立競技場代々木第2体育館

会期

12月22日(土)／23日(日)／24日(月)

3rd

ALL JAPAN JUNIOR BADMINTON CHAMPIONSHIPS '84





主催

財団法人日本バドミントン協会

マッチ・ポイント

その一瞬たよりになるやつ……カールトン



モルテン・フロスト
（デンマーク）

1983 世界ランキングNo. 1

- 1984 全英選手権男子シングルス優勝
- 1984 ジャパン・オープン男子シングルス優勝

超軽量・超パワー

carlton classic

¥15,000（ヘッドカバー付） ●フレーム：超軽量スリム・ステンレス
●シャフト：フルカーボン（テーパー） ●ウェイト：85～95g

総輸入元 メトロレジャー株式会社 〒101 東京都千代田区外神田5 6 4 TEL.(03)833-3661(代)

carlton

That's the name of the game

昭和59年度

第3回 全日本ジュニア バドミントン選手権大会

3rd

ALL JAPAN JUNIOR BADMINTON CHAMPIONSHIPS '84

会場

国立競技場代々木第2体育館

会期

12月22日(土) / 23日(日) / 24日(月)

主催

財団法人日本バドミントン協会

写真提供　ベースボール・マガジン社
バドミントン・マガジン

夢を世界に



財団法人　日本バドミントン協会
会長　桜内義雄

あと１週間あまりで新年という、おしせまった時期になりましたが、第３回全日本ジュニア・バトミントン選手権大会を100余名の若々しい選手諸君をあつめて開催できますことを心よりうれしく思っております。開催時期その他のことから、第１回大会では高校上位校の一部の選手が出場できないなどの不手際もありましたが、第２回・第３回と回数を重ねるにつれ、運営も軌道にのりましたことは、関係各位の格段のご努力の賜物と、心より感謝申しあげる次第でございます。

ご承知のごとく、今日、政治の世界はもとより経済活動におきましても世界はひとつというグローバルな物の考え方が通常になってまいっております。スポーツの世界においても、まったく同様であります。いや、スポーツの世界であるが故に、世界に夢をひろげるグローバルなものが必要なのであります。

幸い、日本のバドミントンは世界に一流国として通用する数すくない競技であります。残念ながら本年５月の世界選手権で、永年防衛しつづけてきた女子世界選手権のユーバー杯を中国にゆずりましたが、まだまだ世界のバドミントン界では一流国に伍してゆけるだけの力をもっています。しかし、近年の中国・韓国に代表される世界各国の台頭ぶりをみますと、このままでゆくと日本のバドミントンは相対的に凋落する危機に直面していると考えるべきでしょう。そこで我々はユーバー杯を失った５月をもって、日本バドミントン再建のスタートと心に期した次第でございます。

日本のアマチュア・スポーツがメジャーになる要件として、オリンピック種目であることと、小学生の全国大会が組織化されていること等が挙げられています。バドミントンはまだ五輪種目ではありませんが、1988年のソウル・オリンピックではデモンストレーション競技の有力候補としてノミネートされています。したがって1992年のオリンピックでは正式種目になる可能性が極めて大なのであります。1992年までの８年間の間に、日本のバドミントンを世界に通用できるものに再建できるか否か、これが焦眉の問題点であります。そして、その鍵を握るのがこの全日本ジュニア選手権大会なのです。今大会で活躍した選手も、８年先にはさらに立派なプレーヤーとして、また指導者として活躍していることでしょう。そして、来年・再来年とこの大会で活躍した選手諸君が、次代の日本バドミントンの中心になっていることは疑いのない事実なのであります。

選手諸君は夢を大きく世界にひろげてください。そして指導にあたる先生がたは選手のこの夢を叶えるべく、よりいっそう愛情をもって厳しく選手の育成にあたっていただきたく存じます。そして、８年後のオリンピック会場で努力の華を共に咲かそうではありませんか。

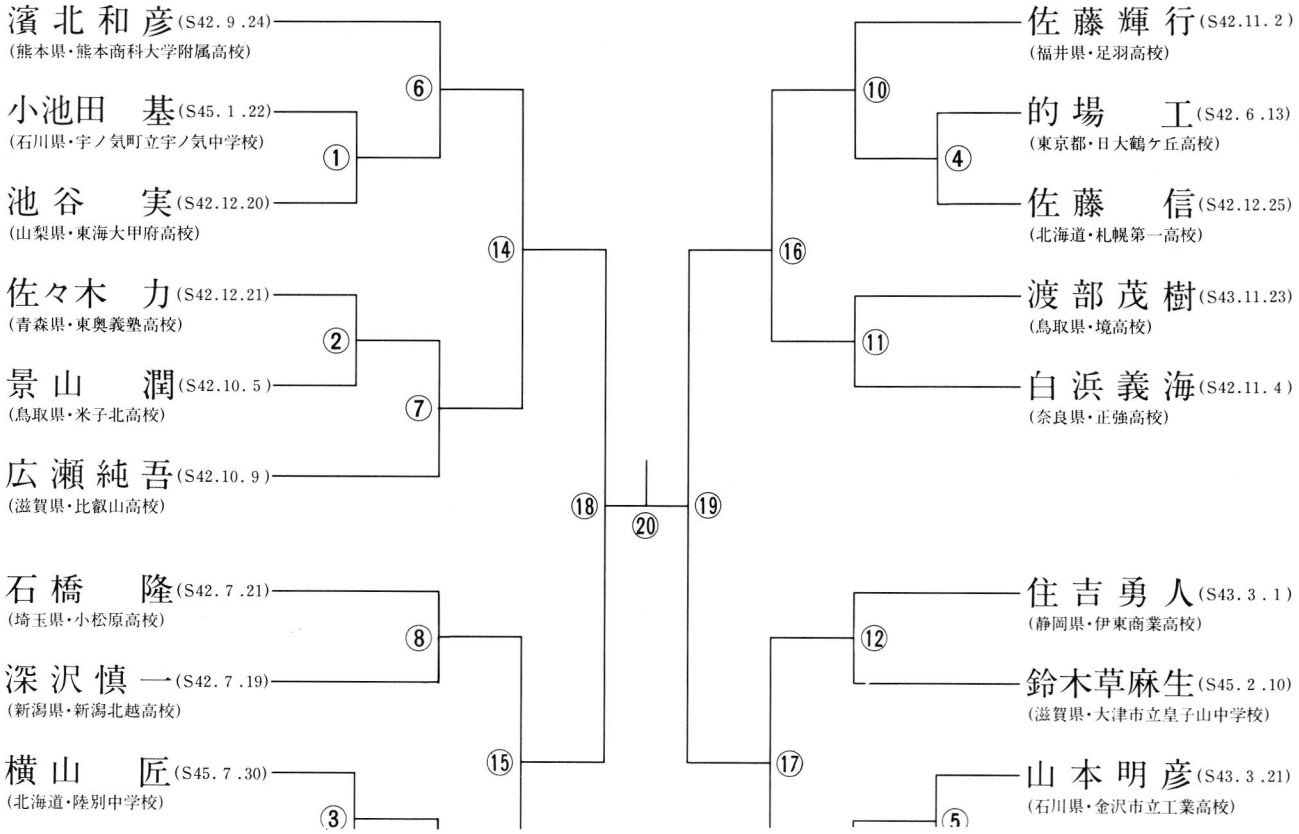
おわりにあたりまして、この大会開催に格別のご協力を賜わりました関係各位に心よりの御礼を申しあげると共に、今後ともオリンピックに通ずるこの大会によりいっそうのご支援を賜わりますことをお願いいたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

大会日程

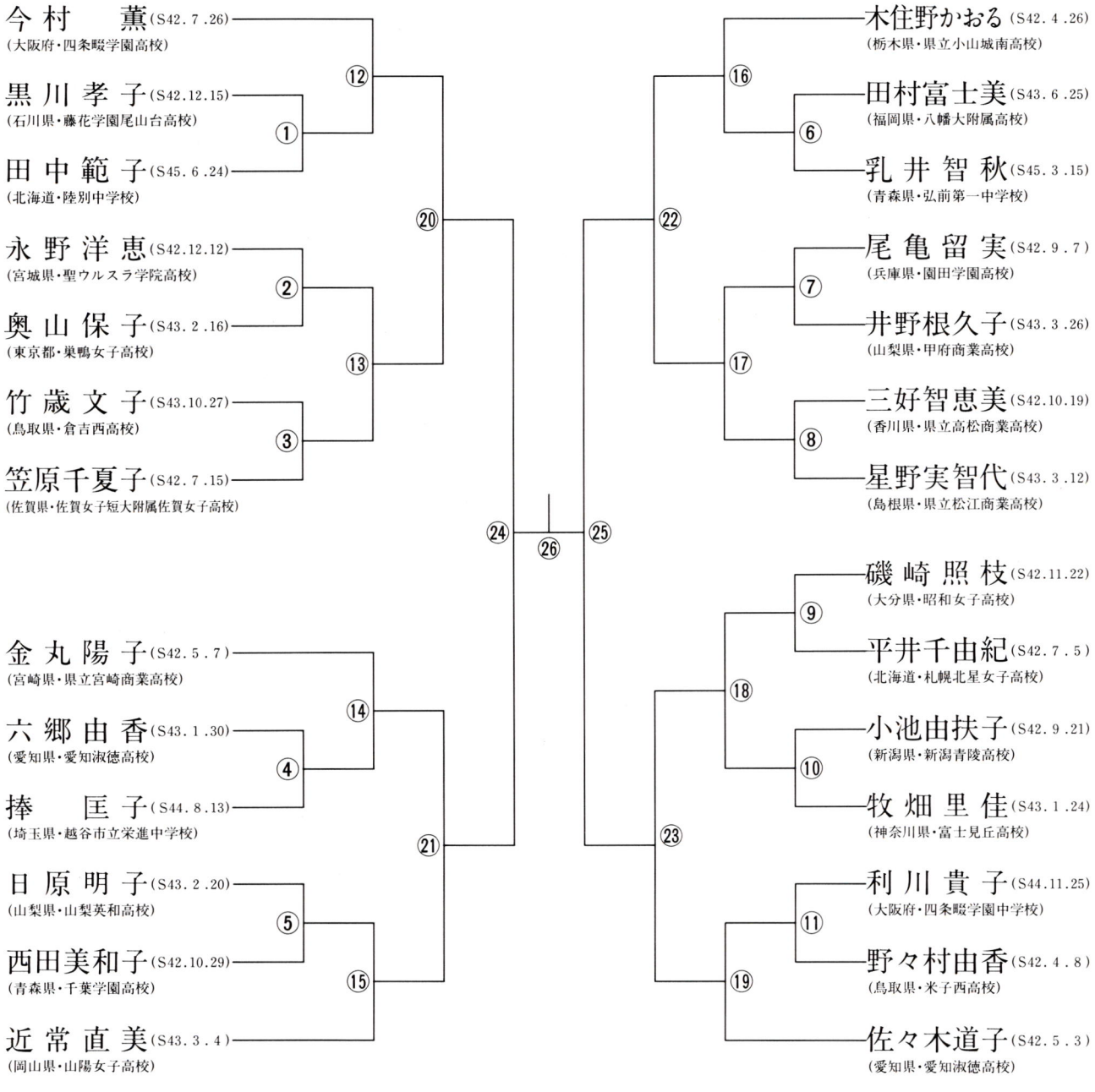
会場＝国立競技場代々木第2体育館

種目 / 日時	男子シングルス（BS）	女子シングルス（GS）	男子ダブルス（BD）	女子ダブルス（GD）
12月22日(土) 開場 10:00			1 回 戦 2 回 戦 3 回 戦	1 回 戦 2 回 戦 3 回 戦
12月23日(日) 開場 9:30	1 回 戦 2 回 戦 3 回 戦	1 回 戦 2 回 戦 3 回 戦		
12月24日(月) 開場 9:30	準 決 勝 決　勝	準 決 勝 決　勝	準 決 勝 決　勝	準 決 勝 決　勝

男子シングルス組合せ(BS)



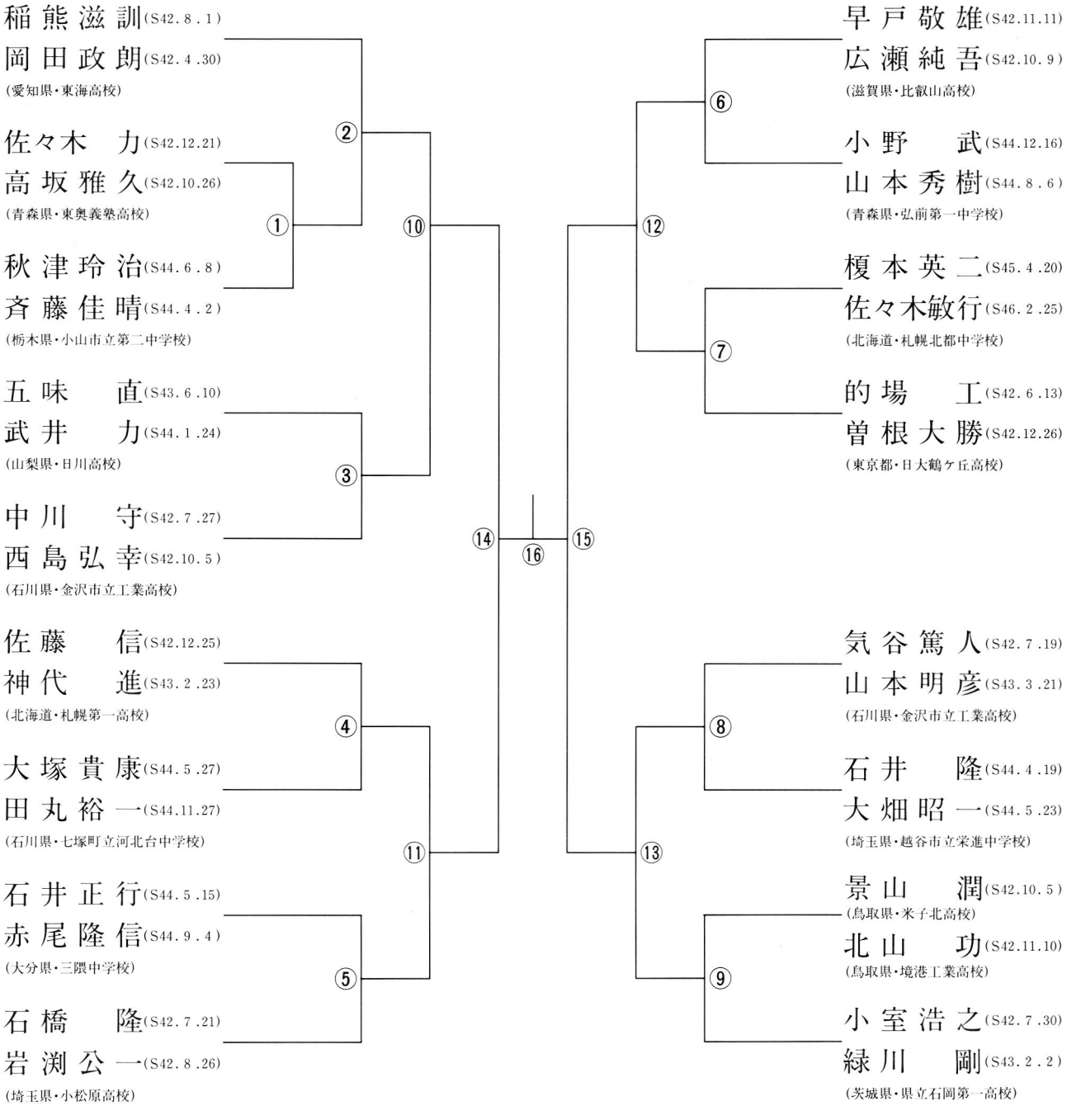
女子シングルス組合せ(GS)



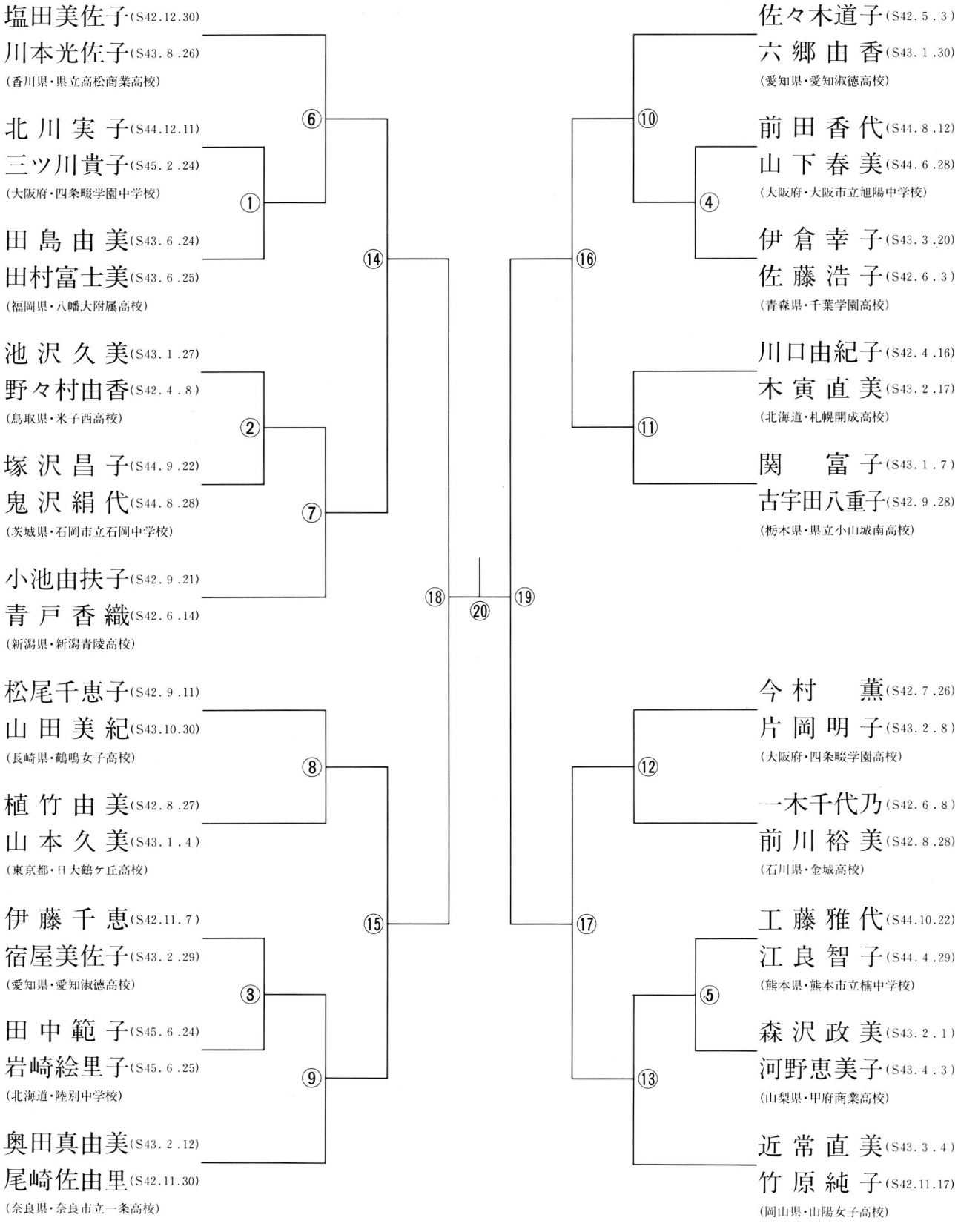
12月24日(月)

コート / 開始時間	1	2	3	4
10:00	BD⑭ 準決勝	BD⑮ 準決勝	GD⑱ 準決勝	GD⑲ 準決勝
11:00	BS⑱ 準決勝	BS⑲ 準決勝	GS㉔ 準決勝	GS㉕ 準決勝
12:00		BD⑯ 決勝	GD⑳ 決勝	
13:00		BS⑳ 決勝	GS㉖ 決勝	

男子ダブルス組合せ(BD)



女子ダブルス組合せ(BD)



大会役員

大会会長　桜内義雄

大会副会長　小口政雄　真藤恒

顧問
石渡俊一　岩崎純三
奥田敬和　北口博
柴田勝治　白山源三郎
地崎宇三郎　内藤健
永末英一　西村尚治
林義郎　藤田義光
松下正寿　山崎武三郎
渡辺秀央　清藤六郎
佐々木洋平　森康
松橋藤吉　鈴木伝四郎
原正　阿久津順一
日野貞夫　大須田良作
須田勝勇　曾山皓
原二三雄　吉川芳男
中村伝　清水規矩雄
宮下明　織田喜一
西澤鐵太郎　後藤淳
安西武二　神谷一三
栗本藤四郎　今井鎮雄
藤田庸右　坂口常博
成相安信　石田祥史
天野辰雄　池上任
俊成薫　結城健輔
四島司　小原嘉文
鈴田正武　脇屋長可
相澤尚夫　稲福盛輝
遠井稔男

参与
伊沢三郎　今井先
川端昇市　小宮淳宏
宮澤宏之
玉手庸　杉田安雄

大会委員長　小飼栄一

大会副委員長　浅岡武

委員
相場清一　池田昌道
伊藤鑛一　今北基夫
岡本武利　神澤暁
堺三徳　里見光徳
清水善一　辰市祐昭
内藤安雄　野村嘉明
浜中誠　増田稔
上原正士　加藤三夫
福岡幸一　村山幸雄
笠原一男　小山内信一
杉田忠光　浜畑莞爾
松橋裕　板垣隆房
須藤博　加藤寛治
五十里光秋　高橋重夫
川上弘　秋山真男
阿部孚　長浦音吉
中島寿禧　原紀征
大箸昭司　伊豆晃
石樽裕忠　沢長寿
池田芳麻　北義一
木村寛　吉田健次郎
山根怜　高麗久義
安倍淳美　津守幸介
東条義昭　富田善明
新名静夫　山本能也
木原逸夫　鳥越邦彦
本郷節生　川島一郎
鳥谷益己　藤本滋
屋比久潔

競技役員

総務委員長	池田昌道			競技委員長	前田耕作	
総務副委員長	高橋英夫	菅原幸雄		競技副委員長	大室信正	後藤哲
	大塚直	金森良三		委員	鈴木潔	峰岸千尋
委員	増田稔	森谷喜久男			宮永武司	島原敦
	根岸知子	松浪鋭四郎			入間秀哲	本多修治
	関敏夫	千葉健夫			近岡昭	
	佐藤隆	高橋秀男				
	殿川宣勝	花岡牧夫				
	柳井法夫	炭川萬次郎				

審判長	里見光徳				
副審判長	五十里光秋	本間研一	佐藤清春		
審判員	伊藤誠彦	新木敬司	坂爪敏夫	三須徳次	星野義昭
	稲石一雄	太田睦子	野口俊美	菊地勲	西一訓
	長谷川清	志村裕喜	吉田幸司	蘇田幹彦	木崎元雄
	〔愛国学園〕				
	木村幸代	三好都和子	寺島佳子	河村由美子	川美真由美
	山田幸子	斉藤典江	段下智子	君塚由美子	吉野文子
	〔日大鶴ケ丘〕				
	長田研	川島健人	石塚秀之	桃井新	横前武
	亀山雅弘	神村義昭	野村幸一	本間正晃	谷川康平
	紙恭子	下川深千	新井康子	小川久美子	名取由起子
	青木朋美	西沢亜矢子	白石みゆき	増田明美	高城徹
	刈部真一	保坂道夫	山田武也	田原哲	飯塚弘人

実行委員会

委員長	増田稔					
委員	池田昌道	里見光徳	清水善一	浅岡武	五十里光秋	
	前田耕作	菅原幸雄	根岸知子	伊藤誠彦	森谷喜久男	
	後藤哲	高橋英夫	新木敬司	太田睦子	村山幸雄	



よりスピーディーに。
さらに俊敏に。

よりスピーディーに…ジョイントレス構造

BG-02

スポーツとしてのバドミントンは、じつに体力を要する競技です。そこではつねに「勝つこと」が最大のテーマであり、勝つためにはスピード、より鋭どい速ちが要求ちれます。BG-02―カワサキはジョイントレス構造の採用により耐久性や安定性でも卓抜のパフォーマンスを達成したのです。さらにフレーム厚を最少限におさえた極薄設計で反発力が大幅に高められ、 空気抵抗の画期的軽減とともに、体力の余分な消耗を減らすなど、絶妙の振りやすさを誇っています。素材面でも100%グラファイトの特性を最大限に活かし、ラケットにおける流体力学・運動力学のあくなき追求によって生まれたラケットです。





素　材：グラファイトフレーム/グラファイトシャフト
カラー：ブラック・シルバー(ケース付)
サイズ：UL-3・4・5
フレーム価格：14,000円

NEW MODEL

kawasaki

カワサキラケット株式会社 本社：〒131東京都墨田区押上3 25 17 TEL.(03)617 3311(大代表) 大阪支店：〒543大阪市天王寺区上本町3 5 11 TEL.(06)764 5591(代表)

Mr.ハストモの選択。

ラケットスポーツで世界をむすぶ
GOSEN

ジョイントレス&ボロンの力。パワープレーヤーに選ばれた、勝利のプロケネックス。

今年のトマス杯で圧倒的な勝利を収めた、インドネシアナショナルチーム。熱戦につぐ熱戦で全世界のバドミントン・フリークを沸かせましたが、その立役者 Mr.ハストモ・アービーの使用していたラケットが、プロケネックスの808であったのをご存知でしょうか。ハストモ得意のパワフルなショットをより効果的に引き出した性能の秘密は、世界で最初にプロケネックスが開発したジョイントレス構造、そして新素材ボロンの導入にあります。すぐれたレスポンスとコントロール性能。トーナメント用の"攻撃型ラケット"として、パワープレーヤーたちに人気のモデルです。プロケネックスのラケット技術とハストモのプレイ技術との出会い。この一本を選んだ瞬間から、ハストモの栄光は始まっていたのかもしれません。



BORON 808
(A・緑／B・ワイン／C・ブルー)
RB-808 ￥13,000(フレーム価格)
ボロン・グラファイトカーボン・コンポジット
ジョイントレス(カバー・フィクチャー付)

GRABON 708
RB-708 ￥9,800(フレーム価格)
100%グラファイトカーボン
ジョイントレス(カバー・フィクチャー付)

PRO KENNEX®

株式会社ゴーセン 本社●〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5816㈹ ●東京支店☎(03)862-6576㈹ ●福岡営業所☎(092)712-5247㈹ ●北陸営業所☎(0762)91-0223㈹

バドミントンマガジン

毎月16日発売●定価500円

ひとつのエース・ショットに
限りない努力がある。
ひとつの勝利に
限りない情熱がある。



熱き青春を記録するバドマガ

全日本総合選手権詳報

2月号(1月16日発売)に掲載!

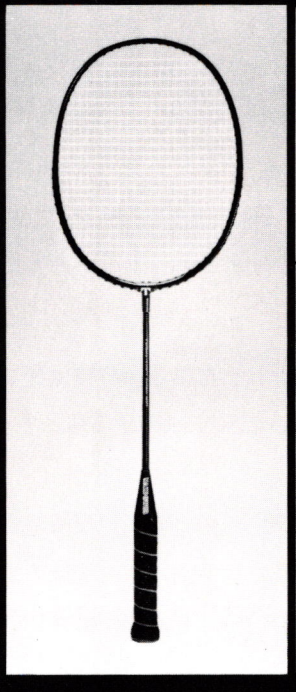
BASEBALL MAGAZINE SHA
株式会社ベースボール・マガジン社 〒101東京都千代田区三崎町3-10-10 ☎03(238)0181《販売部》

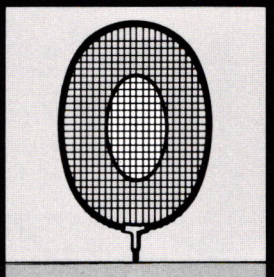
時代が生んだフルサイズ

デカラケ登場!

セミラージバドミントンラケット

MAX POWER





■SLレクタングル形状によって
スイートスポットを拡大し、ガット面の張力が増幅され、より手元に近いニューウェーブな感覚で素晴しいショットを生み出します。

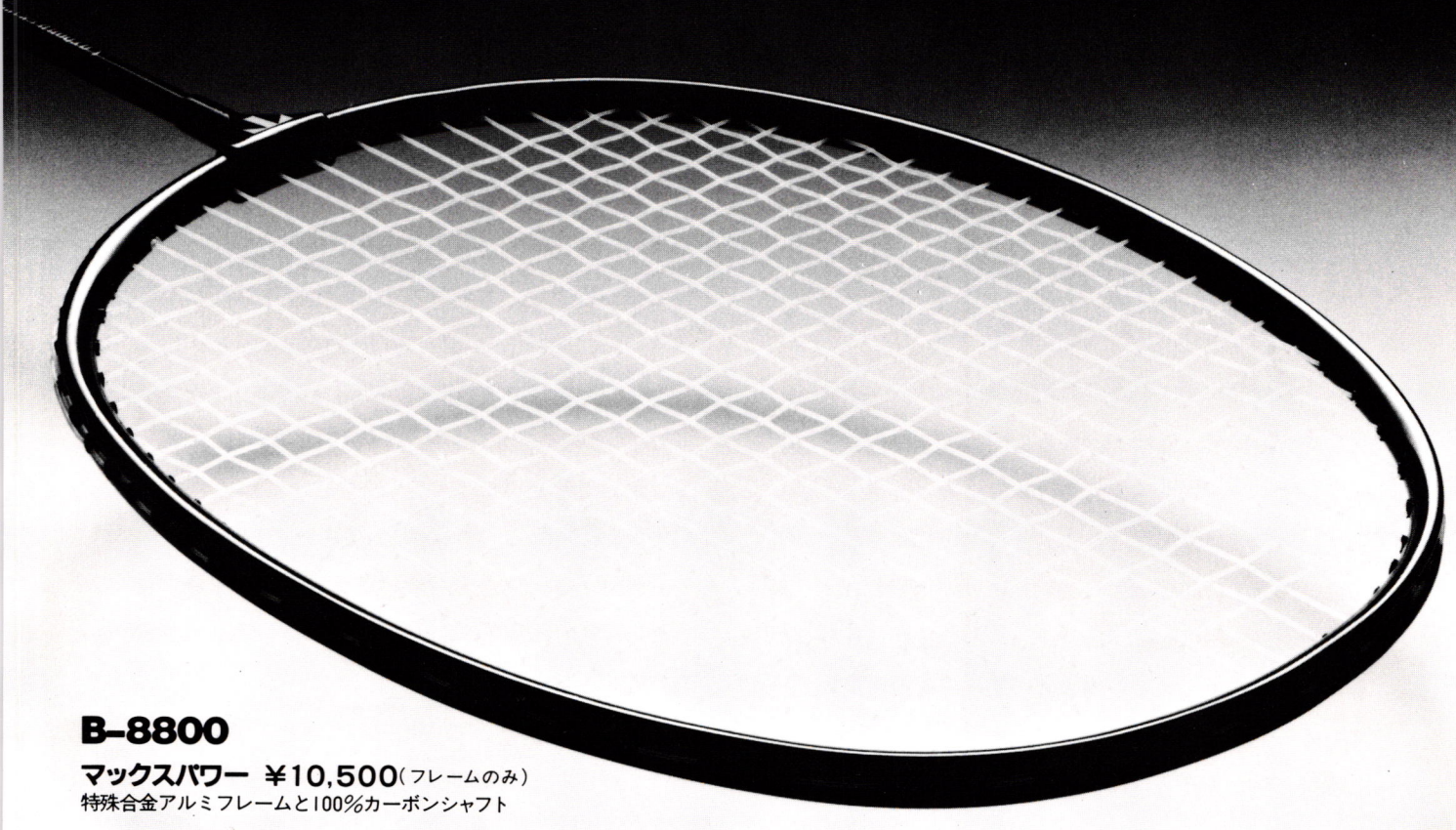
■ガットの張り方
従来のガットの長さをラケット全長の8.1倍をとり、縦張りを原形より1.5㎝落す位の強度で張られることが望ましいです。

バドミントンにニューウェーブ登場!
いよいよ始まるデカラケ時代。

時代が創りだしたマックスパワーは従来のラケットをはるかに超えたスイートスポットの広さ、打球時の瞬発力など、手応え充分なスーパーラケットです。

重量も軽量化に成功

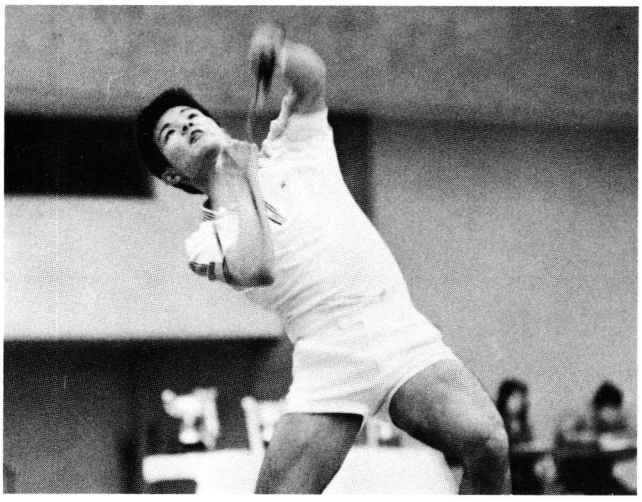
ガット張り上りで110g以内に抑えることが出来ました。



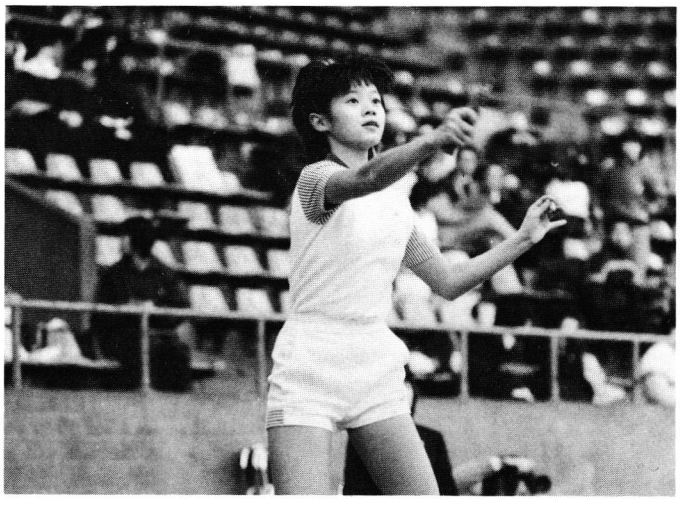
B-8800

マックスパワー ¥10,500(フレームのみ)
特殊合金アルミフレームと100%カーボンシャフト

優良バドミントン用品総合メーカー
株式会社 トヨダスポーツ
■本社 東京都墨田区大平1-10-4 ☎(03)621-0722(代)・621-0723



江藤滋樹



新木貴子

ジュニア選手の活躍をふりかえって

財団法人　日本バドミントン協会
事業本部長　池田昌道

本年７月、東京で行われた第３回日韓大会で、韓国のエース朴柱奉は日本の若手No.1の松浦進二と対戦して、２－０で楽勝した。

３年前の1981年、ソウルの日韓高校交流大会でこの２人は高校生として対戦、シングルスで接戦のすえ２－０で朴が勝っている。この時、日本の監督は「韓国は日本のよき強敵であり、これを機会に日本のジュニアはおおいに飛躍してほしい……」と語っていた。それから３年、韓国は大きく力をつけ日本を追越してしまった。今では逆に日本が学ぶ立場になっている。

こうした現実のなかでジュニア選手の育成が大きな課題となっているが、この１年間、次代を担う中学生や高校生がどのように活躍してきたか、ふりかえってみよう。

全日本ジュニア／高校選抜
ヨーロッパ・ジュニア選手権……

日程の関係で、高校上位校不参加のまま発足した第１回全日本ジュニア選手権大会は不評であったが、昨年の第２回大会では、期待通り注目されていた高校選手が活躍した。男子の江藤裕樹（比叡山高）・女子の新木貴子（四条畷学園高）が優勝。この２人は、つづく３月に行われた春の高校選抜大会でも順当に勝ち進み、その活躍が光っている。

選抜大会に先立って、３月上旬、第５回目のヨーロッパ・ジュニア遠征が行われた。オランダのアムステルダムで開かれたジュニア選手権大会に参加し、女子ダブルスで、米津／林（信愛女学院）がイギリスのフイッシャー／ディジュクを破って見事に優勝。男子ダブルスでも江藤／千葉が準優勝という好成績をあげ、日本の将来に明るい希望をもたせてくれた。

インターハイ……

第35回高校選手権大会は、８月１日から６日まで、秋田県大曲市で開かれた。団体戦では上尾高校（埼玉）が男女とも決勝に進出し、女子は熊本信愛女学院を破って初優勝。熊本勢の４年連続優勝をはばんで話題をよんだ。男子は上尾高校の奮闘もおよばず、春の選抜大会の優勝校比叡山高校が４度目の栄冠を手にした。

個人戦の男子シングルスでは、昨年のジュニア大会以来連勝の江藤裕樹（比叡山高）が圧倒的な強さで優勝。ダブルスでも江藤／中川（比叡山高）が畤津／正田（日大鶴ヶ丘高）を抑えて３冠を達成している。女子シングルスでは、やはり昨年のジュニア大会のチャンピオン新木貴子（四条畷学園高）が今野裕子（上尾高）を抑えて優勝。ダブルスは春のヨーロッパ・ジュニア大会優勝の米津／林（信愛女子学院）が西田／高原（千葉学園高）を破って優勝を飾った。

この大会のなかでは、昨年のジュニア大会で活躍した男子の濱北和彦（熊本商大附高）、生井沢勝美（上尾高）、女子の今村薫（四条畷学園高）が大きく成長して好成績を



林　謙一・鶴田直行組



平井真由美・高田美和組

あげている。

中学校選抜……

全国中学校選抜大会は、8月22日から24日まで、大阪市で開かれた。団体戦では、ここでも東日本勢の健闘が目立っている。男子の決勝は関東勢同士の対決となり、栄進中(埼玉)が小山二中(栃木)にあと一歩まで迫られながら、よくこれを振りきって念願の初優勝を飾った。女子は、はじめてベスト4入りした弘前一中(青森)を四条畷学園中(大阪)が抑えて、3年ぶりに2度目の栄冠を手にした。

個人戦は、男子シングルスで新進の中橋一晃(奈良・二名中)が優勝して、将来が楽しみな2年生チャンピオンとなり、女子シングルスでは栄進中(埼玉)のエース捧匡子が乳井智秋(青森・弘前一中)に勝って2冠を手にしている。男子ダブルスでは秋津／斉藤(栃木・小山二中)が、女子ダブルスでは江良／工藤(熊本・楠中)がそれぞれ優勝している。

こうした中学生選手が高校生とどこまで取り組むことができるか、これからのジュニア選手権大会によってこうした若い力が大きく成長することを期待したい。

日英ジュニア交流……

日英ジュニア交流競技会は、8月13日、イングランド・チームが来日し、合同練習・交流試合を行った。全国選抜チームが韓国へ遠征中ということもあって、交流試合は苦戦の連続。東京大会では、わずか畤津／正田(日大鶴ヶ丘高)が1勝しただけで、男女とも完敗という結果に終った。

日韓交流……

8月17日から22日まで、韓国釜山市で開かれた第12回日韓交流競技会は、予想通り韓国チームのスピードのある動きと強力な攻撃に苦戦し、選抜チームとの対戦成績は男子1－4・女子0－5という結果に終っている。

ジュニアの中国研修合宿……

8月20日から29日まで、中国福建省の漳州スポーツセンターでジュニア選手の研修合宿がおこなわれた。物質的に恵まれた日本の中高校生たちにとっては、環境のちがいとハードスケジュール、猛暑の中でのトレーニングはかなり厳しい合宿であったが、中国ナショナルチームの林豊玉コーチをはじめとする中国コーチの熱心な指導と、交流試合によって中国ジュニアの実力に直接ふれ合うことができたのは、またとない貴重な体験であった。今後のジュニア強化に大きな効果が期待できる合宿といえるだろう。



ジュニア中国研修合宿風景

今年の主要中高生大会の戦績

優＝優勝　●＝個人
準＝準優勝　○＝団体

第2回全日本ジュニア選手権大会

12／26～28　東京都

●男子シングルス

優 江藤裕樹（滋賀県・比叡山高）
準 千葉　明（山梨県・日川高）
ベスト4 濱北和彦（熊本県・熊本商大附高）
長田　淳（東京都・日大鶴ヶ丘高）
ベスト8 服部慶一（愛知県・愛知工大名電高）
中川　康（滋賀県・比叡山高）
角谷淳一（北海道・札幌第一高）
寺崎　明（北海道・札幌第一高）

●女子シングルス

優 新木貴子（大阪府・四条畷学園高）
準 平井真由美（熊本県・熊本信愛女学院高）
ベスト4 堀　正枝（石川県・金沢二水高）
今野裕子（埼玉県・上尾高）
ベスト8 大畑恵子（埼玉県・上尾高）
徳光由美子（青森県・千葉学園高）
大間亜希子（東京都・日大鶴ヶ丘高）
今村　薫（大阪府・四条畷学園高）

●男子ダブルス

優 林　謙一／鶴田直行（熊本県・九州学院高）
準 松元功一／生井沢勝美（埼玉県・上尾高）
ベスト4 千葉　明／野呂泰教（山梨県・日川高）
韮沢伸幸／対馬　実（青森県・東奥義塾高）
ベスト8 疇津耕太郎／正田章二（東京都・日本鶴ヶ丘高）
江藤裕樹／松本仁志（滋賀県・比叡山高）
角谷淳一／寺崎　明（北海道・札幌第一高）
福田和浩／中條起希（埼玉県・小松原高）

●女子ダブルス

優 平井真由美／高田美和（熊本県・信愛女学院高）
準 林　幸枝／米津ゆかり（熊本県・熊本信愛女学院高）
ベスト4 佐々木由美子／今野裕子（埼玉県・上尾高）
新木貴子／今村　薫（大阪府・四条畷学園高）
ベスト8 岡田真澄／川端加世（石川県・金沢二水高）
谷地春子／徳光由美子（青森県・千葉学園高）
若井郁子／小池由扶子（新潟県・新潟青陵高）
六郷由香／伊藤千恵（愛知県・愛知淑徳高）

第12回全国高校選抜選手権大会

3／24～26　栃木県足利市

●男子シングルス

優 江藤裕樹（滋賀県・比叡山高）
準 佐藤輝行（福井県・足羽高）
ベスト4 角谷淳一（北海道・札幌第一高）
越後久夫（栃木県・作新学院高）
ベスト8 今東　建（岡山県・西大寺高）
千葉　明（山梨県・日川高）
鶴田直行（熊本県・九州学院高）
岸　正仁（青森県・弘前実業高）

●女子シングルス

優 新木貴子（大阪府・四条畷学園高）
準 今野裕子（埼玉県・上尾高）
ベスト4 徳光由美子（青森県・千葉学園高）
堀　正枝（石川県・金沢二水高）
ベスト8 木住野かおる（栃木県・小山城南高）
後藤洋子（岐阜県・岐阜女子商業高）
桑田和代（香川県・高松中央高）
大屋幸恵（佐賀県・佐賀女子高）

●男子ダブルス

優 鶴田直行／林　謙一（熊本県・九州学院高）
準 松本仁志／江藤裕樹（滋賀県・比叡山高）
ベスト4 角谷淳一／寺崎　明（北海道・札幌第一高）
福田和浩／石橋　隆（埼玉県・小松原高）
ベスト8 中山達也／越後久夫（栃木県・作新学院高）
服部慶一／間瀬敏秋（愛知県・愛知工大名電高）
崎田健一／気谷篤人（石川県・金沢市立工業高）
韮沢伸幸／対馬　実（青森県・東奥義塾高）

●女子ダブルス

優 清水尚美／田島志乃（熊本県・熊本中央女子高）
準 新木貴子／今村　薫（大阪府・四条畷学園高）
ベスト4 川端加世／岡田真澄（石川県・金沢二水高）
徳光由美子／谷地春子（青森県・千葉学園高）
ベスト8 佐々木由美子／今野裕子（埼玉県・上尾高）
関田律子／川村裕子（栃木県・小山城南高）
竹原純子／近常直美（岡山県・山陽女子高）
桑田和代／山田理恵（香川県・高松中央高）

○男子学校対抗

優 滋賀県・比叡山高校
準 埼玉県・小松原高校
ベスト4 青森県・東奥義塾高校
熊本県・九州学院高校
ベスト8 山梨県・日川高校　奈良県・奈良一条高校
石川県・金沢市立工業高校　北海道・札幌第一高校

○女子学校対抗

優 熊本県・熊本中央女子高校
準 埼玉県・上尾高校
ベスト4 青森県・千葉学園高校
大阪府・四条畷学園高校
ベスト8 新潟県・新潟青陵高校　石川県・金沢二水高校
栃木県・小山城南高校　愛知県・愛知淑徳高校

第35回全国高等学校選手権大会

8／1～6　秋田県大曲市

●男子シングルス

優　江藤裕樹（滋賀県・比叡山高）
準　濱北和彦（熊本県・熊本商大附高）
ベスト4　鶴田直行（熊本県・九州学院高）
　　生井沢勝美（埼玉県・上尾高）
ベスト8　今東　建（岡山県・西大寺高）
　　角谷淳一（北海道・札幌第一高）
　　藤沢　智（群馬県・桐生市立商業高）
　　魚谷啓法（秋田県・秋田高）

●女子シングルス

優　新木貴子（大阪府・四条畷学園高）
準　今村　薫（大阪府・四条畷学園高）
ベスト4　永須実香（茨城県・茗渓学園高）
　　今野裕子（埼玉県・上尾高）
ベスト8　佐々木道子（愛知県・愛知叡徳高）
　　徳光由美子（青森県・千葉学園高）
　　堀　正枝（石川県・金沢二水高）
　　大屋幸恵（佐賀県・佐賀女子短大附高）

●男子ダブルス

優　江藤裕樹／中川　健（滋賀県・比叡山高）
準　疇津耕太郎／正田章二（東京都・日大鶴ヶ丘高）
ベスト4　荒木　純／宇田大介（石川県・金沢市立工業高）
　　中條起希／石橋　隆（埼玉県・小松原高）
ベスト8　芦井隆俊／中川徳幸（福井県・足羽高）
　　崎田健一／気谷篤人（石川県・金沢市立工業高）
　　中山達也／越後久夫（栃木県・作新学院高）
　　鶴田直行／林　謙一（熊本県・九州学院高）

●女子ダブルス

優　米津ゆかり／林　幸枝（熊本県・熊本信愛女学院高）
準　高原恵美／西田美和子（青森県・千葉学園高）
ベスト4　徳光由美子／谷地春子（青森県・千葉学園高）
　　若井郁子／小池由扶子（新潟県・新潟青陵高）
ベスト8　渡辺あゆみ／青戸香織（新潟県・新潟青陵高）
　　清水尚美／田島志乃（熊本県・熊本中央女子高）
　　岡田真澄／川端加世（石川県・金沢二水高）
　　新木貴子／今村　薫（大阪府・四条畷学園高）

第14回全国中学校選抜大会

8／22～24　大阪市

●男子シングルス

優　中橋一晃（奈良県・二名中）
準　高村誠也（熊本県・岱明中）
ベスト4　小池田基（石川県・宇ノ気中）
　　鈴木草麻生（滋賀県・皇子山中）
ベスト8　渡辺一人（東京都・中野第七中）
　　渡辺清一（岩手県・湯口中）
　　奥村和彦（熊本県・西山中）
　　山川清之（富山県・上市中）

●女子シングルス

優　捧　匡子（埼玉県・栄進中）
準　乳井智秋（青森県・弘前第一中）
ベスト4　戸泉和加子（熊本県・京陵中）
　　利川貴子（大阪府・四条畷学園中）
ベスト8　古川正枝（北海道・嵐山中）
　　古田真由美（香川県・香川第一中）
　　飯田順子（栃木県・真岡東中）
　　木住野いずみ（茨城県・明野中）

●男子ダブルス

優　秋津玲治／斉藤佳晴（栃木県・小山第二中）
準　小野　武／山本秀樹（青森県・弘前第一中）
ベスト4　大塚貴康／田丸裕一（石川県・河北台中）
　　石井　隆／大畑昭一（埼玉県・栄進中）
ベスト8　西村龍時／境　恵司（熊本県・岱明中）
　　本山秀昭／坂崎真一（熊本県・八代第八中）
　　岩崎知浩／鈴木厚志（静岡県・伊東南中）
　　俣野公志／川村哲也（滋賀県・皇子山中）

●女子ダブルス

優　江良智子／工藤雅代（熊本県・楠中）
準　北川実子／三ッ川貴子（大阪府・四条畷学園中）
ベスト4　塚沢昌子／鬼沢絹代（茨城県・石岡中）
　　前田香代／山下春美（大阪府・旭陽中）
ベスト8　河村祐子／玉井麻未（滋賀県・高穂中）
　　三浦美紀子／和泉美恵子（青森県・弘前第一中）
　　南里高子／南里泰子（大阪府・四条畷学園中）
　　川添純子／百相丈美（香川県・香川第一中）

○男子団体

優　栄　進　中（埼玉県・関東代表）
準　小山第二中（栃木県・関東代表）
ベスト4　上　市　中（富山県・北信越代表）
　　江　陵　中（北海道・北海道代表）
ベスト8　四条畷学園中（大阪府・開催地代表）
　　西　山　中（熊本県・九州代表）
　　皇子山中（滋賀県・近畿代表）
　　伊東南中（静岡県・東海代表）

○女子団体

優　四条畷学園中（大阪府・近畿代表）
準　弘前第一中（青森県・東北代表）
ベスト4　栄　進　中（埼玉県・関東代表）
　　京　陵　中（熊本県・九州代表）
ベスト8　里　中（埼玉県・関東代表）
　　香川第一中（香川県・四国代表）
　　上　市　中（富山県・北信越代表）
　　石　岡　中（茨城県・関東代表）

全日本ジュニア選手権大会によせて

財団法人　日本バドミントン協会
国際委員　小柳尚久

1984年のバドミントン・カレンダーも最後のページになりましたね。もうすぐ新しい年を迎えようとしています。ふりかえりますと、今年もたくさんの海外遠征に同行させてもらいました。その時にいっしょに行った選手が、この大会にもたくさん出場しています。バドミントンには世界への道がひらかれています。今大会に出場されている選手の方に、世界への道を歩いてほしいと切望しています。そんな気持で、海外バドミントン事情の一端をまとめてみました。

しあわせな時代

デンマークオープン・スエーデンオープン・全英オープン等々々、いま世界の各国でバドミントンのオープン・トーナメントが開催されています。今年から同時開催となったトーマス杯・ユーバー杯をはじめとするたくさんの国際イベントが開催され、世界のバドミントン・ファンをたのしませてくれました。国別の対抗試合やジュニアの遠征・交流試合も盛んでした。

日本国内でも、ジャパンオープンでモルテン・フロストやリム・スイ・キングなど世界のトッププレーヤーを直接見ることができました。また、日本を訪ずれた中国・韓国・イギリスなどのチームから、直接、学ぶ機会をうることもできました。手をのばせば、すぐそこに世界のバドミントンにふれることができる、そんな環境に我々はいるのです。

デンマーク―日本ジュニア'83交流試合



ひと昔前、まだバドミントンがスポーツとして今日ほど広く愛好されていなかった頃、多くの期待と不安を胸に単身世界に飛び出していった小宮選手や秋山選手の時代とくらべると、今は世界の人々と交流する機会が何とたくさんあることかと思います。私たちの先輩が手さぐりで世界へのステップを踏み固めてきた時代をへて、今、世界への道は広くひらけ、そして若いプレーヤーの登場を待ちわびているのです。

興奮のマレーシア

今年をふりかえってみて、世界で最も関心を集めたのは、何といってもマレーシアのクアラルンプールで行われたユーバー杯・トーマス杯の世界選手権大会です。カナダでの激戦を勝ち抜いた男子チームと5回目の防衛のかかった女子チームの日本勢は、2万人の観衆と東南アジアの人々の声援の中で歴史の1ページをしるしてまいりました。エキサイティングでスリリングな世界のトッププレーヤーのプレーは、たくさんのマレーシアの人たちの心をとりこにし、この檜舞台を目指すマレーシアのジュニア・プレーヤーたちに忘れることのできない数々の印象を与えたことでしょう。いい試合を間近に見ることのできたマレーシアのバドミントン・ファンは、2年後・4年後にはいったいどんな選手がきてどんなプレーを見せてくれるのかと、今からその機会を待ち望んでいるに違いありません。

ひろがる世界への道

また今年は日韓大会をはじめ、次のオリンピック開催国としてスポーツ熱高まる韓国チームの、素晴しいプレーが以前にもまして鮮烈に映った年でした。

ソウルではバドミントンがオリンピックのデモンストレーション競技の候補にあがったことから、栄光にかける韓国選手の張りきりぶりはめざましいものがあります。

バドミントンのオリンピック種目化への努力は世界連盟が中心になって積極的な活動が展開されています。もちろん、日本がその中心になって活躍していることは云う

までもありません。韓国はもちろんのこと、近い将来のオリンピックが北京で開催されるなどということになれば、中国も強力な推進メンバーになってくれるに違いありません。

トーマス杯・ユーバー杯そしてオリンピックと、バドミントン競技の世界への道は洋々とひらけているのです。厳しい受験戦争に投げこまれ、志望校に入学してわずかな青春をエンジョイしても、またすぐに年功序列型の実社会が待つ若者の生活に、バドミントンは大きな世界への夢と限りない可能性を与えてくれるのではないでしょうか。

世界のプレーヤーが全日本の大会に注目している
'84ジャパンカップにて



プレーヤー自身が夢を……

いま日本のプレーヤーたちの前に立ちはだかっている強敵は、何といっても「億」の底辺から生まれてくる中国の代表たち、そして意気あがる韓国チーム、フルタイムのバドミントン・プレーヤーとして世界を駆けめぐっている英国や北欧のトップたち、そして国民的英雄として羨望の的となるマレーシアやインドネシアのスターたちでしょう。

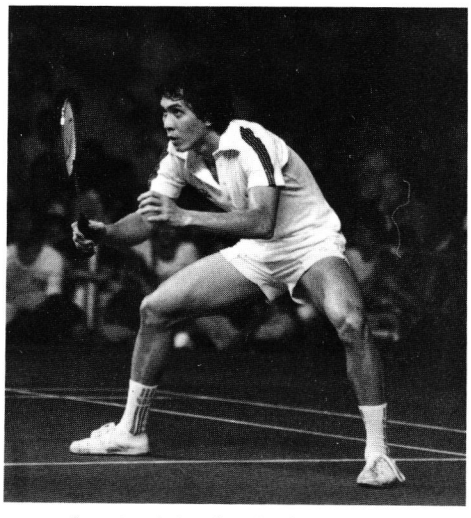
彼らのプレーはほんとうに素晴らしいし、それをとりまく環境も日本のそれとは確かに違います。しかし、日本のバドミントンはその競技人口からいっても、用具や施設、大会の規模からみても決して他の国にひけをとりません。むしろ恵まれすぎているぐらいです。

ただ、その恵まれすぎた環境の中で、プレーヤーたちはある種の〝消化不良〟を起こしているのが現状ではないでしょうか。この消化不良を治す方法のひとつはプレーヤーの自覚だと思います。プレーヤーのひとりひとりが大きな夢をもって、世界を目指してほしいものです。

ガット張りの仕事をしながら今日もライセンスド・プレーヤーをめざすヨーロッパの選手たち。木製のラケットを大切そうに布に包み、自転車で公園に向う北京の愛好者たち。生活を切りつめてルピー札を貯め、遠くからバドミントンの試合を見にくるインドのファンたち。ニューヨークのダウンタウンでは、古びたホールに故郷を離れたマレーシアの人たちが毎週集っては、シャトルを追いかけています。世界の人々が、それぞれの思いや夢をこめてバドミントンを見つめているのです。

恵まれた環境の中で、日本の若いプレーヤーたちが大きな夢で胸をいっぱいふくらませてコートを駆けめぐることができたら、今よりもっともっと素晴しい将来が日本のバドミントン界に訪れることでしょう。

全日本ジュニア選手権大会への出場、ほんとうにおめでとう。世界中のバドミントン・ファンが「眠れるチャンピオン国ジャパン」から、どんな新しいプレーヤーが生まれてくるのかと、この大会に期待をよせ注目しているのです。



プレーヤーなら一度は誰でもあこがれるスター
リム・スウイ・キング

1985年バドミントン・イベント・スケジュール

（一部予定）

1月	ヨネックスカップ・ジャパンオープン'85 バドミントン選手権大会 1月22日～24日　群馬県桐生市・市民体育館　　1月26日～27日　東京都・国立競技場代々木第2体育館
2	第16回全日本女子バドミントン・チャンピオンズ・トーナメント 2月11日　東京都
3	第13回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会 3月26日～27日　石川県金沢市
6	第35回全日本実業団バドミントン選手権大会 6月19日～23日　神奈川県藤沢市
8	第36回全国高等学校バドミントン選手権大会 8月1日～6日　石川県金沢市他
	第24回全日本教職員バドミントン選手権大会 8月17日～21日　福井県福井市
	第9回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会 8月下旬　北海道苫小牧市
	第3回全日本家庭婦人バドミントン競技大会 東京都
	第15回全国中学校バドミントン大会 8月22日～24日　北海道登別市
9	第28回全日本社会人バドミントン選手権大会 8月下旬または9月中旬　山梨県勝沼町
10	第40回国民体育大会バドミントン競技 10月21日～24日　鳥取県大栄町
	第36回全日本学生バドミントン選手権大会 10月20日～25日　大阪市
	第2回全日本シニア・バドミントン選手権大会 10月26日～28日　埼玉県上尾市
	第7回バドミントン日本リーグ 10月下旬～11月下旬　東京都他
12	昭和60年度全日本総合バドミントン選手権大会 12月10日～15日　東京都
	第4回全日本ジュニア・バドミントン選手権大会 12月21日～23日　東京都

一体成型・オールカーボン

ヤマハの精緻な研究が生んだ、カーボンコンポジットシリーズ。
それぞれに確かなプレーヤー適性を持つ3モデル——新登場。

■ヤマハが実現した「一体成型・オールカーボン」。

ハイスピード時代へのヤマハ自信の解答…一体成型方式カーボンコンポジット。
ヤマハ独自のカーボン技術で、反発力の高い超軽量ラケット(85g台)を実現。しかも
耐剛性・耐トルク性に優れた一体成型。その結果、パワーがロスなく正確にシャトルに伝わると同時に、
ヘアピンなどの微妙なコントロールショットにも威力を発揮します。

■プレーヤー適性に合わせて選べる3モデル。

YB500 スーパーカーボンを使用した高剛性・超軽量ラケット。シャープに振り切る
ハードヒッター、攻撃型プレーヤー向き。●価格:¥16,000(カバー付)

YB300 スーパーカーボンで補強した中剛性・超軽量ラケット。
オールコートプレーヤー向き。●価格:¥14,000(カバー付)

YB200 超軽量・ハイフレックスラケット。アベレージ・
プレーヤー、テクニシャンプレーヤー向き。
●カラー:シュガーブルー・シュガーレッド
●価格:¥12,000(カバー付)

●グリップサイズ:3¼(2)、3⅜(3)、3½(4)
●重さ:XXSL(85~89g)、XSL(90~94g)



YAMAHA BADMINTON RACKET

YAMAHA

スマッシュに

驚異のニューパワー。





T型ジョイントを内蔵した、ヨネックス独創のジョイントレス。

これはまた、ビッグなニュースだ。ヨネックスから世界的特許のT型ジョイントを、こんどは内蔵させた驚異のジョイントレスラケットCAB-20登場。ヨネックス独自のオールカーボン一体成型により、エネルギーロスを極限にまで抑え、かってないパワーと抜群の振り抜きが実現しました。時代をつねにリードする、ヨネックスならではの自信作。

新発売

ALL CARBON GRAPHITE

CAB-20 Carbonex20

〈カーボネックス・20〉 ●オールカーボンシャフト ●オールカーボンフレーム ●価格：￥16,000（フレーム・ケース付） ●重量：2U(90～94g)・U(95～99g) ●グリップ：G3・G4・G5 ●色：セピア・マリンブルー

YONEX